

令和3(2021)年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	消費者問題 1 (Consumer Affairs 1) 393127-14500					担当教員	赤塚 浩一 (アカツカ コウイチ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	3年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL / 資格対応科目								

① 授業のねらい・概要
<p>消費者問題は、商品購入・使用の場でのみ発生する特殊な問題から、インターネットを通して生活のあらゆる場面で生じ得る、より広範囲かつ深刻な被害をもたらす問題へと変貌している。本講義では With コロナ時代、インターネット前提社会における消費者問題を、リスクの高い危険な製品・サービスの具体的事例を交えて、背景となる法規制と共に学ぶ。</p> <p>本講義は消費者力検定、消費生活相談員資格試験、消費生活アドバイザー試験に対応する。</p>
② ディプロマ・ポリシーとの関連
<p>職業人として通用する能力/専門的知識・技能を活用する能力/情報収集・分析力を養う。</p>
③ 授業の進め方・指示事項
<p>次回講義内容を記載した資料を、遅くとも前回講義時までに配付する。次回講義内容に関連した消費者問題、発生している事件・事故の情報を、講義時までに、インターネット等を活用して事前に収集すること。</p>
④ 関連科目・履修しておくべき科目
<p>特になし</p>
⑤ 標準的な達成レベルの目安
<p>(i) リスクの高い危険な製品・サービスを回避できる「賢い消費者」になる。 (ii) 詐欺まがいの売込を見抜いて断れる「賢い消費者」になる。 (iii) 消費行動に関する家族・友人・同僚等からの相談に、的確に対応できる。</p>
⑥ テキスト(教科書)
<p>テキストは指定しない。各回、レジュメを配付する。</p>
⑦ 参考図書・指定図書
<p>消費者白書 令和2年版(消費者庁ホームページから無償でダウンロード可能)</p>

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	55%		15%			30%		100%
(i) リスクの高い危険な製品・サービスの回避	20%		5%			10%		35%
(ii) 詐欺まがいの売込を見抜いて断る	20%		5%			10%		35%
(iii) 消費行動相談への的確な対応	15%		5%			10%		30%
フィードバックの方法	課題取組結果に対するフィードバックは、講義の場での発表と質疑応答で行う。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
次回講義内容を記載した資料を、遅くとも前回講義時までに配付する。授業中は板書内容の転記ではなく、講義内容の理解に集中して頂きたい。

⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）
1	イントロダクション（過去・現在・未来の消費者問題）	配付資料	講義で説明した消費者問題事例の概要を調査し理解する。 60分
2	消費者問題の基礎（格差から生まれる消費者問題）	配付資料	企業・売り手と消費者の間の格差の存在を調査し理解する。 60分
3	With コロナ時代の新たな消費者問題	配付資料	コロナ禍が消費生活に与えている影響を調査し理解する。 60分
4	悪質商法1（従来型）	配付資料	従来型悪質商法の事例を調査し、被害状況を理解する。 60分
5	悪質商法2（インターネット利用型）	配付資料	ネット型悪質商法の事例を調査し、被害状況を理解する。 60分
6	悪質商法の事例分析	配付資料	講義で説明した、自己調査した悪質商法事例の対策を検討する。 60分
7	消費者問題に関する法律1（民法・消費者契約法）	配付資料	講義で説明した法律に関する制度を調査し理解する。 60分
8	消費者問題に関する法律2（個人情報保護法）	配付資料	講義で説明した法律に関する制度を調査し理解する。 60分
9	法令違反の事例分析	配付資料	不注意で法令違反を犯さないための注意事項・対策を検討する。 60分

10	衣食住生活・情報生活	配付資料	衣食住生活・情報生活関連の法令・制度を調査し理解する。	60分
11	製品の安全（製造物責任法、製品安全四法）	配付資料	製品安全関連の法令・制度を調査し理解する。	60分
12	インターネット取引、電子契約	配付資料	インターネット取引固有のリスクを調査し理解する。	60分
13	サービス（医薬品・運送・旅行・美容・ペット）	配付資料	サービス分野固有のリスクを調査し理解する。	60分
14	生活設計（金融商品・保険年金・仮想通貨）	配付資料	金融・年金・保険分野の諸制度と最新動向を調査し理解する。	60分
15	課題個人ワーク、情報共有、フィードバック	配付資料	共有・フィードバック内容を個人ワーク結果へ反映する。	60分

⑪ アクティブラーニングについて				
知識定着・確認型 AL を採用する。事前調査情報に基づいて各自で課題への取組を行い、講義の場での発表と質疑応答を通したフィードバックにより、知識の定着・確認を図る。				

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の概要				
ICT企業に勤務し、経営計画・事業計画の策定、インターネットを前提にした新規ビジネスモデルの構築・運用等を担当した。新ビジネス推進に欠かせない民法・個人情報保護法・知的財産権法等の法規制、マネジメントシステム、情報セキュリティ等の関連業務も並行して担当した。また中小企業診断士・技術士として、県内外の中小企業の経営課題・技術課題の解決を支援してきた。				
実務経験と授業科目との関連性				
デジタルトランスフォーメーション時代の、インターネットを前提にした新たなビジネスモデルの、企画・構築から運営までの全プロセスを知る者として、消費者問題の発生原因を企業と消費者の両方の視点から説明し、回避策を両者の立場から説明することができる。				